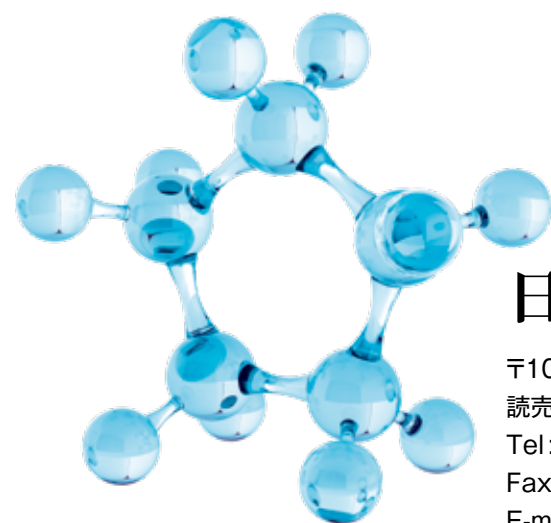




公式ホームページ

<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/>

地方審査の詳細は、ホームページの「問い合わせ」でご確認してください。

日本学生科学賞事務局

〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1

読売新聞東京本社次世代事業部内

Tel: 03-3216-8598 (平日10時~17時)

Fax: 03-5200-1877

E-mail: jssa@yomiuri.com



未来を創るのは君の発見！

JAPAN STUDENTS SCIENCE AWARDS

第66回

日本学生科学賞

応募要項

総合型選抜の大学受験資格

内閣総理大臣賞
賞金50万円
賞金総額 約700万円

入賞特典
国際大会
ISEFへの代表出場
応募作品から選抜

応用数学分野 募集中!

募集分野 **物理、化学、生物、地学、広領域
情報・技術、応用数学**

募集期間 ホームページの問い合わせ窓口からご確認ください。

日本学生科学賞は、中学生・高校生を対象にした歴史と伝統のある日本一の科学コンクールです。未来につながる科学から、身近にある疑問を解く研究まで大歓迎。高校生には、ISEF(国際学生科学技術フェア)への日本代表として出場するチャンスもあります。

主催 読売新聞社 協賛 AsahiKASEI
共催: 全日本科学教育振興委員会、科学技術振興機構
後援: 内閣府、文部科学省、環境省、特許庁

地方審査
2022年
9月~10月

▲QRコードからアクセスしてください



概要

1957年に始まった日本学生科学賞は、中学生、高校生を対象にした歴史と伝統のある日本最高峰の科学コンクールです。昨年の第65回大会では、全国の中学・高校から約7万1千点の研究作品が参加しました。

今大会でも、身の回りの小さな疑問や不思議の解明、教科書に書かれている学説に対する疑問の解決などについて、個人、もしくは生徒が共同で行った作品を募集します。学校の課題研究の発表も歓迎。「科学する心」が伝わる研究作品を強く期待します。

応募資格

中学・高校の生徒。国・公・私立は不問。
高等専門学校、定時制高校の生徒は3年生まで。

募集分野

物理、化学、生物、地学、広領域、
情報・技術、応用数学

※広領域は複数の分野にわたる研究など。
※情報・技術、応用数学は中央審査のみ。

賞

楯と副賞（研究奨励金）が贈られます。

内閣総理大臣賞

2点 ……中学・高校から各1点
副賞 50万円

文部科学大臣賞

4点 ……中学の個人・共同研究から各1点
高校の個人・共同研究から各1点
副賞 30万円

環境大臣賞

科学技術政策担当大臣賞

いずれも2点 ……中学・高校から各1点
副賞 30万円

全日本科学教育振興委員会賞

読売新聞社賞

科学技術振興機構賞

日本科学未来館賞

旭化成賞

読売理学院賞

いずれも2点 ……中学・高校から各1点
副賞 20万円

※上記の賞は「該当研究無し」という場合もあります。
※文部科学大臣賞以外の各賞は個人・共同研究の区別はありません。
※研究奨励金は受賞者または在籍校に贈られます。

入選

楯が贈られます。

1等 18点…中学・高校から各9点
2等 20点…中学・高校から各10点
3等 22点…中学・高校から各11点

※入選点数は若干の増減があります。

特別賞

楯と副賞（研究奨励金）が贈られます。

学校賞

これまで、本賞で優秀な成績を残している学校や、科学教育に熱心に取り組み、成果を上げている学校などに授与されます。

2校…中学・高校各1校
副賞 20万円

指導教諭賞

これまで、本賞を通じて長年にわたり科学教育に貢献してきた教諭の中から、顕著な功績をおさめられた方に授与されます。

若干名
副賞 20万円

※「該当校、教諭無し」という場合もあります。
※学校賞の研究奨励金は受賞校に、指導教諭賞の研究奨励金は受賞者に送られます。

中央審査委員（総合委員）

※このほか、中学、高校教諭をはじめとした審査委員（専門委員）約40人が審査を行います。 ※2022年4月1日現在

【審査委員長】 長濱嘉孝 自然科学研究機構 基礎生物学研究所 名誉教授（分子生物学）

【審査副委員長】 大路樹生 名古屋大学 名誉教授（古生物学・海洋動物学）

【審査委員】 佐野雅己 上海交通大学自然科学研究院 教授（物理学）
（順不同） 松川 宏 青山学院大学 理工学部 教授（物理学）

下井 守 東京大学 名誉教授（化学）

村田 滋 東京大学大学院 総合文化研究科 前教授（化学）

西原 寛 東京理科大学 研究推進機構総合研究院 院長（化学）

藤井正明 東京工業大学 科学技術創成研究院 教授（化学）

高橋正征 日本科学協会 会長（生態学）

和田正三 東京都立大学 名誉教授（生物学）

堀 良通 茨城大学 名誉教授（植物学）

町田武生 埼玉大学 名誉教授（動物学）

木村昌由美 筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 教授（神経科学）

小林 悟 筑波大学生存ダイナミクス研究センター 教授（発生生物学）

酒井 敏 京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授（地学）

Simon Wallis 東京大学大学院 理学系研究科 教授（地学）

西原明法 東京工業大学 超スマート社会卓越教育院 特任教授（電子工学）

浅田 稔 大阪国際工科専門職大学 副学長（ロボット学）

西成活裕 東京大学先端科学技術研究センター 教授（数理解物理学・工学）

合原一幸 東京大学特別教授室 特別教授（数理工学）

高校生が中央最終審査で上位入賞すると、 学校推薦型選抜や総合型選抜の受験資格が得られるほか、 ISEF2023へ出場できるチャンスがあります。

大学の入試で合格者続々！！

2022年の入試では、東京大学（理学部）、慶應義塾大学（理工学部など）、早稲田大学（先進理工学部）、大阪大学（理学部など）、神戸大学（工学部）、筑波大学（医学群医学類）などで、入賞者に学校推薦型選抜や総合型選抜の受験資格が得られました。

2021年は、第64回の受賞者が東京大学や大阪大学に合格するなど、多くの入賞・入選者が、国公立・私立大学に入学しています。詳しくは各大学にお問い合わせください。

第65回大会中央表彰式の様子



日本代表として世界に挑戦

世界最大の学生科学コンテストISEF（国際学生科学技術フェア）へ日本代表として出場するチャンスがあります。詳しくは7ページをご覧ください。



ISEF2021の記事はこちらから
<https://event.yomiuri.co.jp/jssa/abroad>

ISEF2021のグランドアワード（優秀賞）で
化学部門3等を受賞した田中舜さん



応用数学分野 募集中！

日本学生科学賞は、「応用数学」分野の研究作品を募集しています。

自然や人、そして社会の様々な現象について、数学を活用してその仕組みや関係性を明らかにする研究をお寄せください。

これまでの「情報・技術」分野と同様、審査は中央で一括して行います。

募集するのは、例えば右のような研究作品です。もちろんこれらの例にとらわれず、中高生の皆さんの自由な発想で積極的な応募をお待ちしています。

「応用数学」の研究例

- キリンの網の目に規則性はあるのか？
- 宅配便で荷物を効率よく届けて回するにはどういうルートがよいのか？
- 感染症は今後どう終息していくのか？
- 体育館に全校生徒が集合する場合、各クラスがどう移動すれば一番早く集まるのか？
- ヒット曲に共通するリズムの特徴はあるのか？
- 日本語の文章が最も打ちやすいキーボードの配列は？
- 街のどこにコンビニを出店すれば一番儲かるか？
- 交差点での交通量を最大にするための信号制御の方法は？
- 会議での結論は、実際に会議をしなくても参加者の性格などから予測できるか？
- テーマパークの料金を値上げすると、どれぐらい客は減るのか？
- 家の引っ越し荷物を1台のトラックに全て詰められるか？

※アンケート等を含む、人を対象とした研究を行う場合は、5ページの「研究を始める前に」もご覧ください。